

# エコアクション21 2019年度 環境経営レポート



対象期間 (2019年2月～2020年1月)



山田車体工業株式会社

作成日 2020年 5月 21日



# — 目次 —

1. 環境方針	2
2. 組織の概要	3
3. エコアクション21実施体制	4
4. 環境目標	5~7
5. 環境活動結果と評価及び次年度の取組内容	8~9
6. 環境活動実績表	10~13
7. 環境活動取組内容	14~15
8. 環境関連法規等の遵守状況	16
9. 環境関連法規等への違反訴訟の有無	16
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	17

# 1. 環境経営方針

## 経営理念

当社は「お客様の要望に応じて、確かな品質の使い易い製品を生産し、地域社会・物流社会に貢献することである」の企業理念のもと、地域社会の一員として自然環境保護、さらには地球環境保護に積極的に取り組むことにより社会に貢献できる企業を目指します。

## (環境経営方針)

### ○経営重点方針

- (1) 「安全第一」の考えと行動の徹底
- (2) ボデー業界の需要変動への準備、心構え
- (3) 製造原価の的確な把握と改善
- (4) 「安定受注確保」のための「営業力」と「営業基盤」の強化
- (5) 「生産効率の向上」による「生産能力強化」と「コストダウン」
- (6) 不具合、ミス・ロス、トラブルの撲滅
- (7) 「当社ならではの得意科目」をつくり、高品質で、速く、安くつくる
- (8) 設計力、開発力、顧客ニーズ対応力の強化
- (9) 材料、部品の市況等を的確に把握した適時、適切な資材調達
- (10) 有能な人材の確保と育成

### ○環境基本方針

上記の経営重点方針を踏まえ、下記「環境基本方針」に沿った業務の推進を通じ、環境への貢献、環境負荷の低減を継続的に目指します。

1. 環境マネジメントシステムの構築を図り、その適切な運用により環境保護に結びつくよう、継続的な改善を目指します。
2. 当社が行う事業活動に於いて、環境に影響を及ぼす要因の中で、次のことを重点テーマとして取り組みます。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減
  - ② 工場廃棄物排出量の削減
  - ③ 節水への取り組み
  - ④ 化学物質排出量の削減
  - ⑤ 環境に優しいトラックボデー造り
3. 環境に関する法律、規制及び組織が認める外部からの要求事項を厳守します。
4. 従業員への環境教育を実施し、環境方針の理解と環境に関する意識向上を図ります。

制定年月日 2006年 11月1日  
改訂年月日 2018年 2月1日

山田車体工業株式会社

代表取締役社長 山田 和典

## 2. 組織の概要

### ① 事業所名及び代表者

事業所名 代表者名  
山田車体工業株式会社 代表取締役社長 山田 和典



木骨キャブ  
2006年10月に  
独立行政法人「国立科学博物館」  
産業技術資料に登録

### ② 所在地

<b>工場名</b>	<b>住所</b>
本社沼津工場	静岡県沼津市松長字改正600
仙台工場	宮城県富谷市三ノ関68-3
水戸工場	茨城県東茨城郡茨城町長岡3652-85
神奈川工場	神奈川県愛甲郡愛川町中津6789-1
仙台日の出町工場	宮城県仙台市宮城野区日の出町1-4-15

### ③ 責任者及び担当者

	<b>環境管理統括責任者</b>		
本社沼津工場	製造推進部 部長	酒井 安広	
	<b>環境管理責任者</b>		<b>環境管理担当者</b>
本社沼津工場	安全環境課課長	酒井 安広	安全環境課担当課長 仁田 英徳
仙台工場	工場長	石岡 昭一	工場長付担当部長 乙黒 敏浩
水戸工場	工場長	高羽 覚	製造課主任 福田 淳一
神奈川工場	工場長	室伏 久	副工場長 眞下 智樹
仙台日の出町工場	仙台工場長	石岡 昭一	工場長付担当部長 乙黒 敏浩

### ④ 連絡先

本社沼津工場 安全環境課 長澤 麻美  
TEL: 055-966-0815 FAX: 055-966-7474 E-mail: shisetsu@yamada-body.co.jp

### ⑤ 事業の内容

輸送用機械器具製造業 自動車車体製造(トラック部門)



フラップボデー

### ⑥ 事業年度

2月～翌年1月

### ⑦ 事業規模

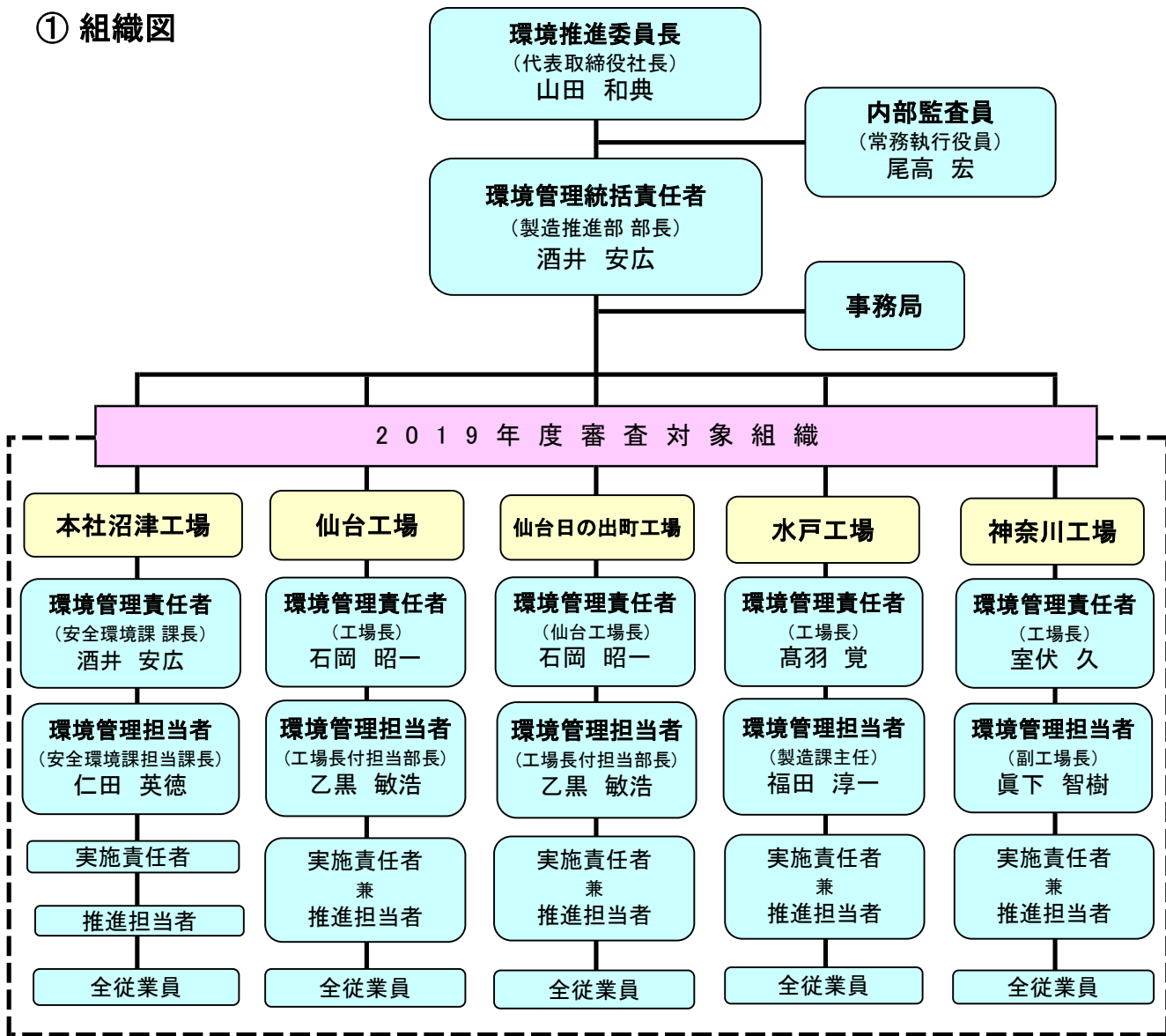
工場名	事業規模	単位	60期	61期	62期	63期	64期
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
本社沼津工場	新車の生産台数	台	350	347	309	287	309
	社員数	人	101	101	103	98	102
	延べ床面積	m <sup>2</sup>	15,720	15,720	15,720	15,720	15,720
仙台工場	新車の生産台数	台	417	422	447	371	348
	社員数	人	84	84	97	97	95
	延べ床面積	m <sup>2</sup>	6,223	6,223	6,223	6,223	6,223
水戸工場	新車の生産台数	台	156	160	154	155	179
	社員数	人	31	31	37	37	40
	延べ床面積	m <sup>2</sup>	3,373	3,373	3,373	3,373	3,373
※ 神奈川工場	新車の生産台数	台		0	1	0	0
	社員数	人		7	9	5	7
	延べ床面積	m <sup>2</sup>		839	839	839	839
※ 仙台日の出町工場	新車の生産台数	台			6	5	7
	社員数	人			5	5	3
	延べ床面積	m <sup>2</sup>			972	972	972

\* 新車の生産台数に二次架装車、修理車は含まれません。

【数値は各年度の1月21日時点のもの】

# 3. エコアクション21実施体制

## ① 組織図



## ② 役割分担

組織名称	役割・責任
環境推進委員長 (代表取締役社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の作成</li> <li>経営資源の準備</li> <li>環境管理責任者の任命</li> <li>全体の評価と見直し</li> </ul>
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部監査の実施</li> <li>関連書類の確認</li> </ul>
環境管理統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の構築、運用</li> <li>事務局の取りまとめ、監督、指導、管理</li> <li>代表者への報告</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動実施報告の管理</li> <li>活動情報の掲示</li> <li>環境経営レポートの作成</li> <li>実施責任者、推進担当者への情報伝達</li> <li>関連書類及び記録の作成</li> <li>各数値、データの記録</li> <li>事務局会議の運営</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局会議の開催</li> <li>取組状況の確認及び問題の是正</li> <li>環境関連法規制等の取りまとめ</li> <li>環境目標、活動計画の確認</li> </ul>
環境管理担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連文書の記録、管理及び報告</li> <li>事務局への関連書類、活動報告</li> </ul>
実施責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部署の統括</li> <li>環境活動計画の実施監督</li> <li>環境活動計画の進捗管理</li> <li>推進担当者への助言</li> </ul>
推進担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動の実施</li> <li>環境活動実施状況の報告</li> <li>活動に対する意見</li> <li>環境活動計画の構築</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>決められた事を守り、自主的、積極的に環境活動の参加</li> </ul>

## 4. 環境経営目標

### ① 二酸化炭素排出量の削減

#### 環境経営目標(年次目標)

2018年度実績(売上高比)を基準とし1%の削減目標とする。

#### 環境経営目標(中期目標)

2019年度実績(売上高比)を基準とし中期期間(3年間)で毎年1% 2022年度で3%削減目標とする。

工場名	項目	年次目標		中期目標 単位: kg・CO2/百万円			
		2019年度	2018年度(-1%)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				基準年度	基準年度(-1%)	基準年度(-2%)	基準年度(-3%)
本社沼津工場	電気※1	201.26		184.74	182.89	181.05	179.20
	灯油※2	(3.34)		(3.21)	(3.18)	(3.15)	(3.11)
	都市ガス	8.04		4.46	4.42	4.37	4.33
	ガソリン	9.05		7.47	7.40	7.32	7.25
	軽油※3	(33.38)		(28.81)	(28.52)	(28.23)	(27.95)
	<b>二酸化炭素</b>	<b>255.07</b>		<b>228.69</b>	<b>226.40</b>	<b>224.12</b>	<b>221.83</b>
仙台工場	電気※1	172.07		163.53	161.89	160.26	158.62
	灯油※2	(1.13)		(0.71)	(0.7)	(0.7)	(0.69)
	LPG	107.10		56.89	56.32	55.75	55.18
	重油	13.12		12.11	11.99	11.87	11.75
	ガソリン	10.36		8.86	8.77	8.68	8.59
	軽油※3	(16.76)		(27.16)	(26.89)	(26.62)	(26.35)
<b>二酸化炭素</b>	<b>320.54</b>		<b>269.26</b>	<b>266.57</b>	<b>263.87</b>	<b>261.18</b>	
水戸工場	電気※1	183.50		157.24	155.67	154.10	152.52
	灯油※2	(8.47)		(4.38)	(4.34)	(4.29)	(4.25)
	LPG	175.00		154.85	153.30	151.75	150.20
	ガソリン	24.61		23.14	22.91	22.68	22.45
	軽油※3	(57.73)		(42.40)	(41.98)	(41.55)	(41.13)
<b>二酸化炭素</b>	<b>449.32</b>		<b>382.01</b>	<b>378.19</b>	<b>374.37</b>	<b>370.55</b>	
神奈川工場	電気※1	269.77		228.93	226.64	224.35	222.06
	灯油※2	(2.06)		(2.31)	2.29	2.26	2.24
	LPG	1.82		1.37	1.36	1.34	1.33
	ガソリン	196.80		145.52	144.06	142.61	141.15
	軽油※3	(54.65)		(34.81)	(34.46)	(34.11)	(33.77)
<b>二酸化炭素</b>	<b>525.10</b>		<b>412.94</b>	<b>408.81</b>	<b>404.68</b>	<b>400.55</b>	
仙台日の出町工場	電気※1	239.67		210.94	208.83	206.72	204.61
	灯油※2	(0.00)		(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)
	LPG	—		—	—	—	—
	ガソリン	—		—	—	—	—
	軽油※3	—		—	—	—	—
<b>二酸化炭素</b>	<b>239.67</b>		<b>210.94</b>	<b>208.83</b>	<b>206.72</b>	<b>204.61</b>	

※1.電気の二酸化炭素排出量は各工場以下の電力事業者の調整排出係数より算出している。

本社沼津工場 (鈴与商事 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.536 (2019年度7月まで)

(鈴与商事 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.437 (2019年度8月から変更)

仙台工場 (大和ハウス工業 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.579

水戸工場 (大和ハウス工業 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.579

(東京電力 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.474

(鈴与商事 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.536 (2019年度7月まで)

(鈴与商事 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.437 (2019年度8月から変更)

神奈川工場 (鈴与商事 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.536 (2019年度7月まで)

(鈴与商事 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.437 (2019年度8月から変更)

仙台日の出町工場(エネックス 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.545

※2.灯油は使用量が少ないので目標値を設定しない。(二酸化炭素排出量には含む)

※3.軽油は商品車納品距離に影響されるので目標は設定しない。(二酸化炭素排出量には含む)



## ② 廃棄物排出量の削減

### 環境経営目標(年次目標)

2018年度実績(売上高比)を基準とし 1% の削減目標とする。

### 環境経営目標(中期目標)

2019年度実績(売上高比)を基準とし中期期間(3年間)で毎年 1% 2022年度で 3% 削減目標とする。

工場名	年次目標	年次実績	中期目標 単位:kg/百万円			
	2019年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	2018年度 (-1%)	基準年度	基準年度 (-1%)	基準年度 (-2%)	基準年度 (-3%)	
本社沼津工場	34.27	31.56	31.24	30.93	30.61	
仙台工場	22.77	17.39	17.22	17.04	16.87	
水戸工場	39.29	50.06	49.56	49.06	48.56	
神奈川工場	40.50	27.93	27.65	27.37	27.09	
仙台日の出町工場	28.91	4.20	4.16	4.12	4.07	

## ③ 節水への取組み

### 環境経営目標(年次目標)

2018年度実績(売上高比)を基準とし 1% の削減目標とする。

### 環境経営目標(中期目標)

2019年度実績(売上高比)を基準とし中期期間(3年間)で毎年 1% 2022年度で 3% 削減目標とする。

工場名	年次目標	年次実績	中期目標 単位:kg/百万円			
	2019年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	2018年度 (-1%)	基準年度	基準年度 (-1%)	基準年度 (-2%)	基準年度 (-3%)	
本社沼津工場	12.24	9.63	9.53	9.44	9.34	
仙台工場	0.45	0.46	0.46	0.45	0.45	
水戸工場	0.65	0.42	0.42	0.41	0.41	
神奈川工場	0.87	0.64	0.63	0.63	0.62	
仙台日の出町工場	1.07	1.07	1.06	1.05	1.04	

## ④ 化学物質排出量の削減

### 環境経営目標(年次目標)

2018年度実績(売上高比)を基準とし 1% の削減目標とする。

### 環境経営目標(中期目標)

2019年度実績(売上高比)を基準とし中期期間(3年間)で毎年 1% 2022年度で 3% 削減目標とする。

工場名	年次目標	年次実績	中期目標 単位:kg/百万円			
	2019年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	2018年度 (-1%)	基準年度	基準年度 (-1%)	基準年度 (-2%)	基準年度 (-3%)	
本社沼津工場	4.56	3.94	3.90	3.86	3.82	
仙台工場	5.66	5.90	5.84	5.78	5.72	
水戸工場	5.06	3.62	3.58	3.55	3.51	
神奈川工場	3.50	2.74	2.71	2.69	2.66	
仙台日の出町工場	5.93	5.51	5.45	5.40	5.34	



## ⑤環境に優しいトラックボデー造り

### (1)環境負荷物質の削減

#### 環境経営目標(年次目標)

環境負荷物質の削減に向け部品・部材管理システムの活用をする。

#### 環境経営目標(中期目標)

管理システムを運用し、明確化、簡素化を図る。

車体工業会の環境負荷物質フリー宣言時に於ける対象外の不適合や未確認品の10%削減を図る。

工場名	年次目標	年次実績			中期目標 単位:件		
	2019年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
	2018年度(90%)	基準年度	基準年度(90%)	基準年度(85%)	基準年度(80%)		
全工場	1,364	840	756	714	672		

### (2)軽量化の実施

	項目	工場名	年次目標	年次実績	中期目標		
			2019年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1	油圧ユニットの軽量化	本社 沼津工場	流量調整バルブを固定にした (実用化開始)	普及	普及	普及	普及
		仙台工場		普及	普及	普及	普及
2	ルーフの軽量化	仙台工場	普及	47台架装	継続実施	継続実施	継続実施
		本社 沼津工場	一部実用化	一部実用化	継続実施	継続実施	継続実施
3	前後アーチの軽量化	仙台工場	検討	検討	継続実施	継続実施	継続実施

【本社沼津工場・仙台工場】  
流量調整バルブから、流量固定バルブへの変更

【仙台工場】  
軽量素材を使用したフラップボデー



### (3)塗料の改善検討

	項目	工場名	年次目標	年次実績	中期目標		
			2019年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
1	※特化則対象物質 非含有塗料の採用	本社 沼津工場	継続検討	12台実施	継続実施	継続実施	継続実施

※PRTR法対応・特定化学物質障害予防規則の対象物質非含有環境型塗料

# 5. 環境経営計画と評価及び次年度の取組内容

(取組期間:2019年2月~2020年1月)

環境経営項目		評価					コメント	今後の取組内容
		沼津	仙台	水戸	神奈	日出		
電気	目標値に対する評価	△	○	○	○	○	【達成率】 沼津 198 % 仙台 105 % 水戸 131 % 神奈川 122 % 仙台日の出町 112 %  【本社沼津工場】 10月まで目標を達成していたが、9月末に導入した2Dレーザー加工機の稼働に伴い電力が増加し、わずかに目標未達となった。	継続して実施する。  【本社沼津工場】 2Dレーザー加工機は今後更に稼働向上を目指しており、節電の工夫も考慮して来期の目標を設定する。
	節電シールの貼付け	○	○	○	○	×		
	不必要な照明はこまめに消す	○	○	○	○	○		
	未使用設備の電源OFF (製造設備・OA機器・他)	○	○	○	○	○		
	エアコンフィルターの定期清掃 (夏冬年2回)	○	○	○	○	○		
	高効率照明の採用(LED照明等)	○	○	○	○	○		
	設備更新時のインバーター化推進	—	—	—	—	—		
	コンプレッサーのエア漏れチェックと整備	○	○	○	○	—		
	非効率加工品の外注化	○	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—		
二酸化炭素排出量の削減	都市ガス・LPG	○	○	○	○	—	【達成率】 沼津 105 % 仙台 147 % 水戸 112 % 神奈川 123 %	継続して実施する。
	目標値に対する評価	○	○	○	○	—		
	使用状況の調査・問題点の抽出	○	—	—	—	—		
	ガス漏れ点検	○	○	○	○	—		
	乾燥設備の点検	○	○	○	—	—		
	自然乾燥の増加	○	○	—	—	—		
	乾燥設備の換気フィルター清掃	○	○	○	—	—		
	フォークリフトの省エネ運転励行	○	○	○	○	—		
	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—		
ガソリン	目標値に対する評価	○	○	○	○	—	【達成率】 沼津 117 % 仙台 114 % 水戸 106 % 神奈川 125 %	継続して実施する。
	効率的なルートによる営業活動	○	○	○	○	—		
	不必要なアイドリングはしない	○	○	○	○	—		
	不要な荷物を積まない	○	○	○	○	—		
	急発進・急加速の禁止	○	○	○	○	—		
	タイヤの空気圧チェックの実施	○	○	○	○	—		
軽油	納車時の早期出発	○	○	○	—	—	目標は設定しないが、継続してCO2削減の活動を行う。	
	給油量の見直し(年1回)	○	○	○	○	—		
	納車時の省エネ運転励行	○	○	○	○	—		
	フォークリフトの省エネ運転励行	○	○	○	—	—		
廃棄物の削減	目標値に対する評価	○	○	×	○	—	【達成率】 沼津 109 % 仙台 124 % 水戸 173 % 神奈川 130 %  【水戸工場】 ・3月4月に工場全体で大規模な5S活動を実施し、大量の廃棄物が排出された。 ・塗装不良による塗装使用量増加に伴う廃棄増加。 ・塗装ブース大掃除により塗料カス廃棄が増加した。	継続して実施する。  【水戸工場】 今後も5S活動の強化継続により廃棄物は若干増加する傾向。  ・塗装修正ロス改善による廃棄物の削減。 ・定期的な塗装ブースの清掃。
	分別の徹底	○	△	△	△	—		
	廃シナーの再生利用	○	○	—	○	—		
	パレットの返却による再利用	○	○	○	○	—		
	梱包材の再利用	○	△	△	○	—		
	ムダの出ない資材発注 (カット購入・定尺寸法見直し)	○	○	○	○	—		
	材料のムダ削減 (ミスロスの削減・端材利用)	○	○	○	○	—		
	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—		
	—	—	—	—	—	—		

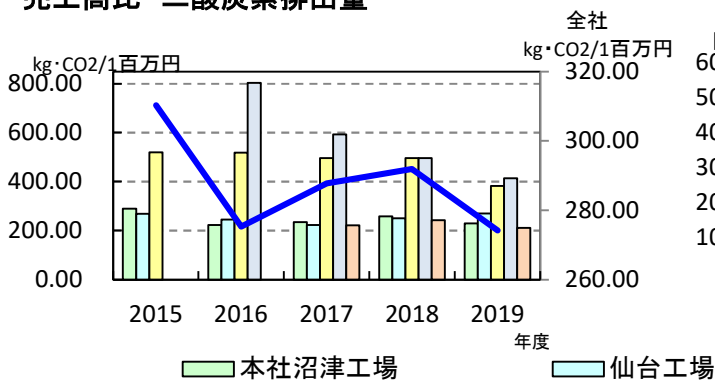
環境経営項目	評価					コメント	今後の取組内容
	沼津	仙台	水戸	神奈	日出		
水使用量の削減	目標値に対する評価	○	△	○	○	○	【達成率】 沼津 121 % 仙台 98 % 水戸 136 % 神奈川 126 % 日の出町 100 %  【仙台工場】 2月～4月にかけてシャシ入庫が多く、入庫時の搬入業者による洗車で水使用量が増加した。  【仙台工場】 節水ステッカーの貼り付け場所を増やすことで搬入業者が洗車する時の節水意識を高める。社外の使用者に対する対応で難しいが、是正措置後の使用量は改善されている。
	節水シールと使用状況のチェック	○	○	○	○	○	
	水漏れ点検の実施	○	○	○	○	○	
	自噴水の利用	○	—	—	—	—	
化学物質	目標値に対する評価	○	○	○	○	○	【達成率】 沼津 114 % 仙台 115 % 水戸 128 % 神奈川 121 % 日の出町 107 %
	SDSの入手・適正管理	△	△	○	○	×	
	有害性の少ない材料への転換	○	○	○	○	×	
	エコシナー使用率の向上	△	△	○	○	×	
環境にやさしいトラックボデー造り	目標値に対する評価	△	△	×	×	—	目標30%減に対し36%減
	購入部品・部材のエビデンス入手	△	—	—	—	—	目標30%減に対し25.4%減
	環境負荷物質非含有品への代替え	×	—	—	—	—	
	環境負荷物質のシステム管理	○	—	—	—	—	部品マスターへの登録が完了した。
	油圧ユニットの軽量化	○	○	—	—	—	流量調整バルブは2018年11月から固定バルブに切換えを行い、2019年度から開始している。
	ルーフの軽量化	○	○	—	—	—	47台架装した。
	前後アーチの軽量化	—	—	—	—	—	
	特定化学物質対応塗料の採用	○	—	—	—	—	12台実施した。
放射能汚染土運搬用ボデーの開発・架装	○						
備考	① 取組期間の評価は2018年2月～2019年1月までの実績評価である。						
	② 評価判定は○・△・×の3段階で行なった。 ○ 目標値を達成 又は 活動が概ね計画通り実施できた。 △ 目標値の95%～100%未満 又は 活動が一部計画通り実施できなかった。 × 目標値の95%未満 又は 活動が実施できなかった。						
	③ 活動計画の見直しは、2019年度が終了した時点で行なう。						

# 6. 環境経営実績表

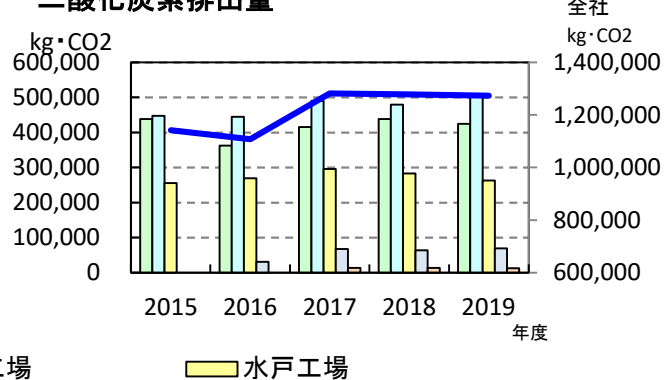
## ① 二酸化炭素排出量

項目	工場名	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高比	本社沼津工場	kg・CO2 /百万円	288.92	222.39	234.68	257.64	228.69
	仙台工場		268.82	244.65	222.44	249.47	269.26
	水戸工場		519.35	517.76	495.76	495.86	382.01
	神奈川工場		—	803.22	593.02	495.44	412.94
	仙台日の出町工場		—	—	221.91	242.09	210.94
	全社		310.23	275.27	287.72	291.86	274.19
排出量	本社沼津工場	kg・CO2	438,287	362,944	415,317	438,354	424,980
	仙台工場		447,524	445,014	489,958	479,832	502,509
	水戸工場		255,518	269,755	295,974	282,799	262,973
	神奈川工場		—	30,523	67,605	63,999	69,453
	仙台日の出町工場		—	—	13,207	13,765	13,055
	全社合計		1,141,329	1,108,236	1,282,061	1,278,749	1,272,970

売上高比 二酸化炭素排出量



二酸化炭素排出量



## (1) 電気使用量

項目	工場名	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高比	本社沼津工場	kg・CO2 /百万円	218.40	155.51	187.07	203.29	184.74
	仙台工場		161.91	161.12	163.12	168.04	163.53
	水戸工場		215.16	222.65	290.16	227.34	157.24
	神奈川工場		—	492.25	348.84	334.23	199.20
	仙台日の出町工場		—	—	218.92	242.09	210.96
	全社		215.16	222.65	290.16	227.34	157.24
使用量	本社沼津工場	kwh	656,077	660,917	633,793	691,751	705,821
	仙台工場		473,529	531,756	600,722	571,606	527,079
	水戸工場		209,619	222,651	254,080	224,460	220,862
	神奈川工場		—	37,411	81,792	86,350	79,297
	仙台日の出町工場		—	—	24,101.00	25,257	23,955
	全社		1,141,329	1,108,236	1,282,061	1,278,749	1,272,970

本社沼津工場 (鈴与商事 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.536 (2019年度7月まで)  
 (鈴与商事 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.437 (2019年度8月から変更)

仙台工場 (大和ハウス工業 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.579

水戸工場 (大和ハウス工業 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.579  
 (東京電力 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.474  
 (鈴与商事 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.536 (2019年度7月まで)  
 (鈴与商事 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.437 (2019年度8月から変更)

神奈川工場 (鈴与商事 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.536 (2019年度7月まで)  
 (鈴与商事 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量X0.437 (2019年度8月から変更)

仙台日の出町工場 (エネックス 調整排出係数)二酸化炭素排出量(kg-CO2)=使用量×0.545

## (2) 化石燃料使用量 灯油使用量

項目	工場名	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高比	本社沼津工場	kg・CO2 /百万円	3.43	5.01	4.08	3.37	3.21
	仙台工場		0.87	0.70	0.95	1.14	0.71
	水戸工場		9.26	9.05	9.83	8.56	4.38
	神奈川工場		—	11.80	5.01	2.08	2.33
	仙台日の出町工場		—	—	2.99	0.00	0.00
使用量	本社沼津工場	ℓ	2,087	3,280	2,774	2,304	2,396
	仙台工場		580	519	797	881	535
	水戸工場		1,829	1,892	1,999	1,959	1,210
	神奈川工場		—	180	229	108	157
	仙台日の出町工場		—	—	72.00	0	0

※ 二酸化炭素排出量(kg・CO2) = 使用量 × 0.0679 × 36.7

## 都市ガス使用量

項目	工場名	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高比	本社沼津工場	kg・CO2 /百万円	14.13	13.67	9.16	8.12	4.46
使用量		m <sup>3</sup>	10,163	10,580	7,357	6,555	3,933

※ 二酸化炭素排出量(kg・CO2) = 使用量 × 0.0513 × 41.1

## LPG使用量

項目	工場名	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高比	仙台工場	kg・CO2 /百万円	64.01	34.66	30.1	39.64	56.89
	水戸工場		224.05	208.46	195.31	176.77	154.84
	神奈川工場		—	2.37	1.69	1.84	1.37
使用量	仙台工場	kg	35,609	21,184	20,864	25,397	35,366
	水戸工場		36,720	36,179	32,986	33,584	35,509
	神奈川工場		—	30	69	79	77

※ 二酸化炭素排出量(kg・CO2) = 使用量 × 0.0598 × 50.2

## 重油使用量

項目	工場名	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高比	仙台工場	kg・CO2 /百万円	9.09	19.35	15.6	13.26	12.11
使用量		ℓ	5,090	11,657	11,981	9,410	8,340

※ 二酸化炭素排出量(kg・CO2) = 使用量 × 0.0693 × 39.1

## ガソリン使用量

項目	工場名	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高比	本社沼津工場	kg・CO2 /百万円	18.48	15.89	9.42	9.14	7.47
	仙台工場		13.03	11.18	10.45	10.46	8.86
	水戸工場		30.55	33.34	31.92	24.87	23.14
	神奈川工場		—	262.41	154.59	102.08	146.65
使用量	本社沼津工場	ℓ	12,076	11,173	6,873	6,697	5,981
	仙台工場		9,370	8,838	9,368	8,666	7,125
	水戸工場		6,474	7,482	6,970	6,109	6,862
	神奈川工場		—	4,295	7,591	5,680	10,603

※ 二酸化炭素排出量(kg・CO2) = 使用量 × 0.0671 × 34.6

## 軽油使用量

項目	工場名	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高比	本社沼津工場	kg・CO2 /百万円	34.48	32.31	35.44	33.72	28.81
	仙台工場		19.91	17.64	15.22	16.93	27.16
	水戸工場		40.33	44.26	56.56	58.31	42.40
	神奈川工場		—	34.39	83.29	55.20	32.44
使用量	本社沼津工場	ℓ	19,930	20,093	22,878	21,860	20,399
	仙台工場		12,670	12,333	12,069	12,409	19,315
	水戸工場		7,560	8,787	10,927	12,673	11,123
	神奈川工場		—	498	3618	2,717	2,091

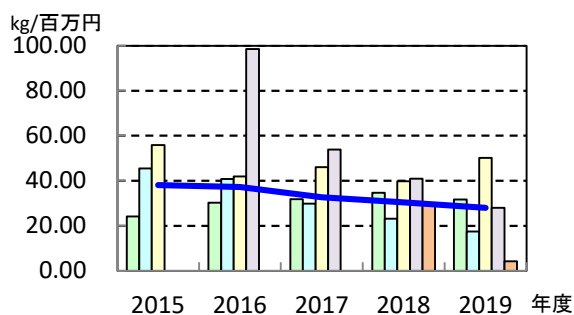
※ 二酸化炭素排出量(kg・CO2) = 使用量 × 0.0687 × 38.2

## ② 廃棄物排出量

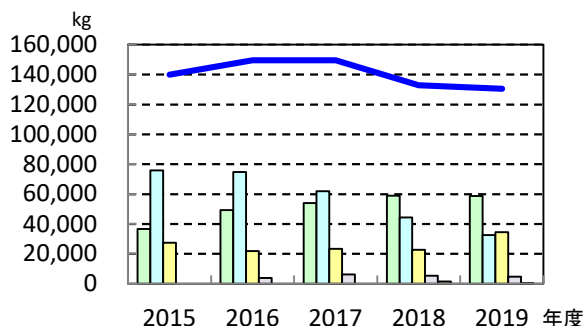
項目	工場名	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高比	本社沼津工場	kg/百万円	24.12	30.19	31.81	34.62	31.56
	仙台工場		45.39	40.72	29.73	23.00	17.39
	水戸工場		55.84	41.89	45.94	39.69	50.06
	神奈川工場		—	98.42	53.86	40.90	27.93
	仙台日の出町工場		—	—	—※	29.20	4.20
	全社		38.02	37.15	32.58	30.29	27.94
排出量	本社沼津工場	kg	36,588	49,263	53,888	58,896	58,656
	仙台工場		75,800	74,720	61,860	44,235	32,460
	水戸工場		27,474	21,824	23,292	22,634	34,464
	神奈川工場		—	3,740	6,140	5,285	4,725
	仙台日の出町工場		—	—	—※	1,660	260
	全社合計		139,862	149,547	149,547	132,710	130,565

※ 2017年度は仙台工場へ取りまとめて排出をしている為、実績なし。

### 売上高比 廃棄物排出量



### 廃棄物排出量

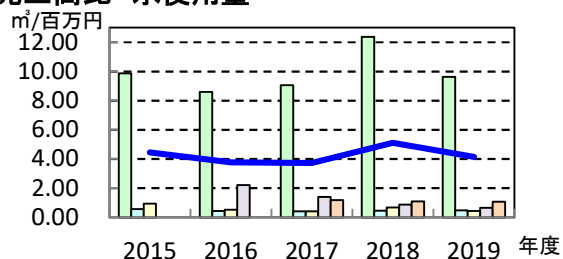


■ 本社沼津工場 ■ 仙台工場 ■ 水戸工場 ■ 神奈川工場 ■ 仙台日の出町工場 ■ 全社

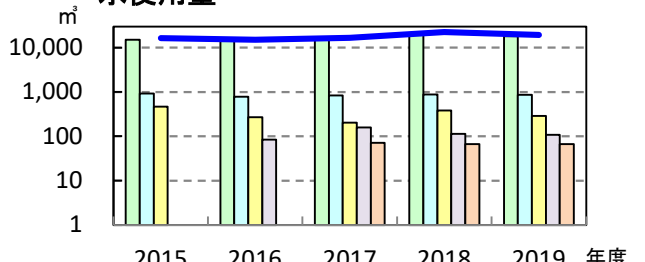
## ③ 水使用量

項目	工場名	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高比	本社沼津工場	m <sup>3</sup> /百万円	9.86	8.58	9.06	12.36	9.63
	仙台工場		0.55	0.42	0.40	0.45	0.46
	水戸工場		0.94	0.52	0.40	0.66	0.42
	神奈川工場		—	2.21	1.38	0.87	0.64
	仙台日の出町工場		—	—	1.18	1.08	1.07
	全社		4.44	3.76	3.73	5.12	4.14
使用量	本社沼津工場	m <sup>3</sup>	14,959	14,005	15,348	21,025	17,900
	仙台工場		913	777	824	870	861
	水戸工場		461	269	202	379	286
	神奈川工場		—	84	157	113	108
	仙台日の出町工場		—	—	71	67	66
	全社合計		16,333	15,135	16,602	22,454	19,221

### 売上高比 水使用量



### 水使用量



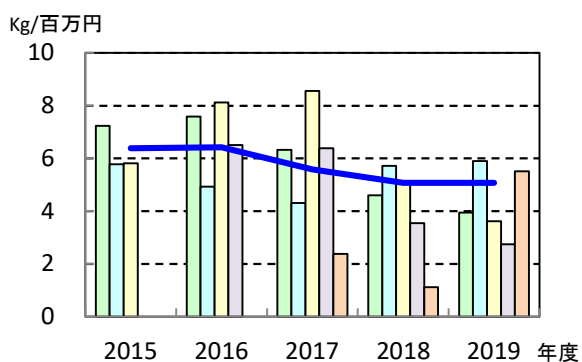
■ 本社沼津工場 ■ 仙台工場 ■ 水戸工場 ■ 神奈川工場 ■ 仙台日の出町工場 ■ 全社

#### ④ 化学物質排出量

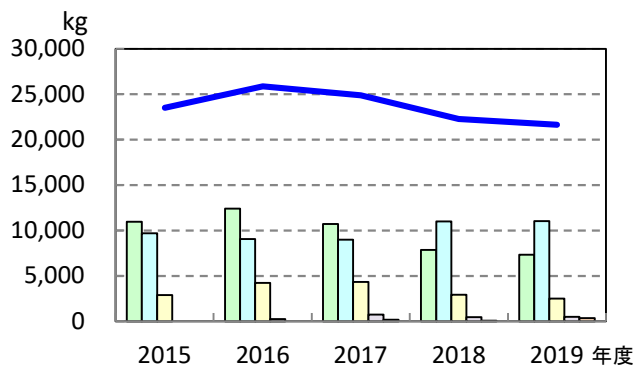
項目	工場名	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高比	本社沼津工場	kg/百万円	7.23	7.58	6.32	4.60	3.94
	仙台工場		5.78	4.92	4.31	5.71	5.90
	水戸工場		5.81	8.12	8.55	5.11	3.62
	神奈川工場		—	6.50	6.38	3.54	2.74
	仙台日の出町工場		—	—	2.38	1.12	5.51
	全社		6.38	6.43	5.58	5.08	5.08
排出量	本社沼津工場	kg	10,960	12,371	10,704	7,830	7,323
	仙台工場		9,660	9,036	8,972	10,988	11,011
	水戸工場		2,856	4,228	4,334	2,913	2,492
	神奈川工場		—	247	727	457	463
	仙台日の出町工場		—	—	143	64	341
	全社合計		23,476	25,882	24,880	22,252	21,630

※ 化学物質排出量は購入量から算出しています。

売上高比 化学物質排出量



化学物質排出量



■ 本社沼津工場 ■ 仙台工場 ■ 水戸工場 ■ 神奈川工場 ■ 仙台日の出町工場 ■ 全社



## 7. 環境活動取組内容



【仙台工場】社会貢献  
団体献血  
出張献血バスにて協力しました。



【本社沼津工場】地域周辺の清掃活動  
市内一斉クリーン週間  
会社周辺を部署ごとにエリアを分けて  
清掃活動をしました。



【本社沼津工場】防火訓練



【本社沼津工場】側溝掃除



【本社沼津工場】  
カートリッジをまとめてリサイクル工場へ





**【本社沼津工場】 社会貢献**

**使用済み切手回収運動への参加**

日本キリスト協海外医療協力会に送っています。  
使用済み切手5,000枚でタンザニアの看護学校の約1年分の教科書代になります。



**【本社沼津工場】 社会貢献**

**エコキャップ運動への参加**

エコキャップ推進協会へ送っています。  
キャップの素材であるポリプロピレンのリサイクル促進。  
キャップをゴミとして焼却しないことでCO2の削減。売却益で発展途上国の医療支援。回収したキャップの異物除去作業への雇用創出。と、社会貢献に役立っています。



**【本社沼津工場】**

**6Sパトロール掲示板**

工場休憩室、の入口付近に設置。

6Sパトロール結果報告書を、改善前、改善済に分けて掲示しています。



**【水戸工場】**

**工場見学**

10月2日に地元の小学生の工場見学に協力しました。



**【本社沼津工場】**

**工場見学**

2月28日に地元の小学生の工場見学に協力しました。



## 8. 環境関連法規等の遵守状況

主な摘要法規	適用内容	遵守評価				
		本社 沼津工場	仙台工場	水戸工場	神奈川工場	仙台 日の出町工場
大気汚染防止法	一般粉じん発生施設の届出(設置・変更・廃止時)	○	○	—	—	—
水質汚濁防止法	特定施設の届出(設置・変更・廃止時)	○	○	○	—	—
騒音規制法	特定施設の届出(設置・変更・廃止時)	○	○	○	—	—
振動規制法	特定施設の届出(設置・変更・廃止時)	○	○	○	—	—
神奈川県条例※	指定事業所の届出(設置・変更・廃止時)	—	—	—	○	—
公害防止法	公害防止管理者の選任 (騒音・振動による特定工場がある場合)	—	—	—	—	—
PRTR法	特定化学物質の報告書提出 (特定化学物質の年間取扱量が1t以上の場合)	○	○	○	○	○
廃棄物処理法	マニフェストの交付・保存	○	○	○	○	○
家電リサイクル法	特定家庭用機器廃棄時の適正な処理	○	—	—	—	—
フロン排出抑制法	フロン使用機器廃棄時の適正な処理	○	○	○	○	○
消防法	危険物施設の届出(設置・変更・廃止時) 防火管理者の選任	○	○	○	○	—
労働安全衛生法	作業環境測定 定期・特殊健康診断の実施	○	○	○	○	○
その他要求事項	車輛法保安基準の遵守	○	○	○	○	○
	車工会における環境負荷物質自主取組み基準	○	○	○	○	○

※神奈川県生活環境の保全に関する条例

## 9. 環境関連法規等への違反訴訟の有無

環境関連法規への遵守状況確認の結果、違反はありませんでした。

また、関係機関からの違反指摘や利害関係者からの訴訟等は各工場共、過去3年間ありませんでした。

# 10. 代表者による全体評価と見直しの結果

## (1) 全体評価

### 1) 環境への取組が適切に実施されているか

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量、化学物質排出量、の削減等については、適切に取組が行われています。

また、環境に優しいトラックボデー造りについては、営業、技術、資材、製造等の全ての業務の中で、環境負荷物質を含有しない部品の使用や、軽量化、省エネ化を常に意識したボデー造りを行っています。

### 2) 環境経営システムが有効に機能しているか

システムについても問題なく機能しています。

## (2) 見直し

### 1) 環境経営方針

特に変更はありません。

### 2) 環境経営目標、環境経営計画

特に変更はありません。

### 3) 環境関連法規などの遵守状況、外部からの環境に関する苦情や要望など

特に問題はありません。

今年度は、CO2排出量について2019年8月に、本社沼津工場、神奈川工場、水戸工場の電力事業者契約を一本化し変更した事でCO2調整後排出係数が大幅に下がり、排出量削減につながった。加えて、仙台工場は9月に、水戸工場では9月～12月に、工場の水銀灯をLED照明に置換える事を推進し、これもCO2排出量削減に大きく寄与している。

一方で、仙台工場、沼津工場では昨年末にそれぞれレーザー加工機を新規に導入した事で電力増となるが、これによって従来より高品質で効率の良いボデー造りに貢献できるものと期待している。

当社の今年度の重点取組みの一つとして本社沼津工場に於いて、新規受注案件で放射能汚染土運搬用ボデーの開発と架装を行った。本件は社内的なノウハウの蓄積の機会を得ただけでなく、環境における社会的貢献の一端を担う意味で環境経営に資する意義ある案件であり、今後もこのような取組みを大切にしたい。

また、水戸工場では、特定のボデーを対象を絞った工数低減活動や、全体の効率を目指した5S活動をプロジェクト活動として推進し、成果をあげている。これらも最終的には経営の効率を高め、様々なロスの削減に繋がる環境経営の改善に資するものであり、会社全体での共有と連携を強化して活動を継続していく所存です。

山田車体工業株式会社

代表取締役社長 山田 和典

